

TORIDE

# 此石

五城目消防広報誌

Vol.14

MURITA

許容重量 29400N

01

緊急車両紹介

水槽付消防ポンプ自動車 五城目タンク1

02

団員紹介

第12・13分団 分団長 伊藤 一成さん  
第7分団 班長 佐々木 一朗さん

VOL.14 2024.3 五城目町消防本部 消防広報誌



#### SPECIFICATIONS

呼称	五城目タンク1
車名	日野レンジャー
全長	7550mm
全幅	2330mm
全高	3100mm
総重量	11300kg
水量	1500L
定員	6名
配備年	2016.12.1

五城目町消防本部 緊急車両紹介 水槽付消防ポンプ自動車

# 五城目タンク1



前方



運転席



後方

## — 消防車はなぜ赤いの？ —

外国から輸入した消防車両が赤色であったことから日本でも赤色としたのが一般的な理由です。他にも、赤色は注意を引く色で、炎を連想させ警戒心を呼び起こすことも理由のひとつのようです。道路運送車両の保安基準によると、「緊急自動車の車体の塗色は、消防自動車にあっては朱色とし、その他の緊急自動車にあっては白色とする」と定められていて、法律上では朱色とされています。外国の消防車両は、フランス、イギリスは「赤」、ドイツは「赤」「紫」、アメリカは「赤」「白」「黄」を用いているようです。

2016年に配備された「五城目タンク1」は、消防職員とメーカーが話し合い、オーダーメイドで製造された世界に1台しかない消防車両です。火災、救助、自然災害など、様々な事案に対応できる資器材を積載し、五城目町民の安心安全を守っております。

本特集では、そんな「五城目タンク1」の全貌を紹介します。

①ホースバッグ



②チェーンソー



③エンジンカッター



④電動油圧カッター



⑤ライフジャケット

⑥ロープ救助資器材

⑦吸管・放水口

⑧ポンプモニター

## 五城目タンク1資器材紹介!!

### ①ホースバッグ

消火活動で使用するホースが3本収納されており、その総重量はなんと約30キロ!!

専用のバッグに収納することで短時間かつ効率的にホースを延ばすことができ、1分1秒を争う火災現場において欠かせない資器材です。

### ②③チェーンソー、エンジンカッター

チェーンソーは倒木や水害による流木など、木材を切断するときに使用します。エンジンカッターは金属やコンクリートを切断するときに使用します。

### ④電動油圧カッター

交通事故等で車内に閉じ込められた要救助者を救出する際に使用する資器材です。

狭い空間でも強力なパワーでドアの開放、切断が可能です。

### ⑤ライフジャケット

着用者を水上に浮かせ、頭部を水面上に位置させる救命用具です。体にフィットするデザインになっているので運動性に優れ、また浮力を得にくい淡水域でも高い浮力を得られる構造になっています。

### ⑥ロープ救助資器材

山林など足場の悪い災害現場において要救助者を救出する際に使用する資器材です。

小型かつ軽量で過酷な環境下においてもスムーズな活動が可能です。

### ⑦⑧吸管・放水口、ポンプモニター

火災の炎は消防車のタンクにある水だけでは消火することができません。吸管を使用し、防火水槽や川、堰から吸い上げた水を放水口から出すことで炎を消火することができます。

また、今の消防車には電子モニターが搭載されており、エンジンを最適な回転速度に制御したり、使用中のエラーの原因を警告する機能により、高い安全性と確実性を発揮しています。

# — 分団長インタビュー —



第12・13分団 分団長  
いとう いっせい  
伊藤 一成さん

20代のときは東京でシステムエンジニアとして働き、故郷の五城目町に戻ったタイミングで入団を決意。現在は稲作とトマトを栽培しています。

12・13分団は若手団員が多いため仕切りは作らず、ざくばらんに話せる関係で消防団活動も参加できる人が参加するように、強制はしていません。その中で各自の仕事をもちつつも、遅くまで活動してくれる後輩たちには本当に感謝しています。昨年の大雨災害でも、地域の家々から避難所まで何度も往復して、住民の命を守りました。

これからもお互いを支え合うことができる消防団を目指します。

## — 団員紹介 —



一朗さんが育てた  
キイチゴ

キイチゴ農家を営む一朗さんは、消防団に所属していた父親の薦めで入団しました。昨年の大雨によるごみ置き場の火災では、長時間の放水や警戒活動に苦勞したのと同時にやりがいも感じたそうです。生まれ育ったこの町で、今までお世話になった皆さんに恩返しをする気持ちで頑張る一朗さん。

現在所属する7分団は消防団員（基本団員）が一朗さん1名で、機能別団員（基本団員OB）の協力を得て活動しており、共に災害に立ち向かう新入団員を募集しています。



第7分団 班長  
ささき いちろう  
佐々木 一朗さん



## — 五城目町の救急・火災件数 —



〔救急件数〕		〔救急種別〕 (10月~12月)		〔傷病程度〕 (10月~12月)		〔火災件数〕	
10月	30件	急病	69件	軽症	53.3%	10月	0件
11月	26件	一般負傷	20件	中等症	28.9%	11月	2件
12月	42件	交通	3件	重症	15.6%	12月	0件

～編集後記～

2月29日がある年のことを「うるう年」と言います。これは地球が太陽の周りを1周する「公転周期」と暦のずれを修正するために設けられています。暦は365日ですが、地球の公転周期は365.24日です。この0.24の端数を4年に1度、うるう年として修正しています。うるう年と聞くと誕生日の人はいつ歳を取るのか気になりますね。「年齢計算ニ関スル法律」に基づく、「年齢は出生の日より起算する」、「年においてその起算日に相当する日の前日に満了する」と定められています。このことから、2月29日生まれの人は2月28日24時に1つ歳を取ることになります。4月1日生まれの人が1つ上の学年に入るのも同じ理由です。（青木）

